

調査研究グループの活動

(公社) 東京都ペストコントロール協会
調査研究グループ・リーダー 元木 貢

グループの構成

- 担当副会長：元木 貢 (アベックス産業株式会社)
担 当 理 事：清水 一郎 (株式会社ヨシダ消毒)
：坂上 茂雄 (東京太洋化工株式会社)
：谷川 力 (イカリ消毒株式会社)
委 員：石向 稔 (国際衛生株式会社)
：小松 謙之 (株式会社シー・アイ・シー)
：渡邊 徹 (株式会社中央社)
：渡邊賢太郎 (株式会社帝装化成)
：伊藤 弘文 (株式会社東京三洋)
：春成 常仁 (イカリ消毒株式会社)
：佐々木 健 (アベックス産業株式会社)

これまでの活動

昭和59年、今から29年前に技術委員会が発足、故田中生男先生に顧問をお引き受けいただき、毎月のように委員会を開催、さまざまな活動をしてきました。昭和59年に情報誌「技術ファイル」を発刊、第1号は「ヒラタキクイムシ」がテーマでした。その後、屋内性ダニ、クマネズミの抵抗性、日本衛生動物学会、ペストコントロールフォーラムやペストロジー学会報告、ハチ、モグラ、カメムシ、ゴキブリ、ベイト剤などさまざまなテーマで発行してきました。

昭和62年、殺虫剤散布が全盛のころ、薬剤による危害の防止のため、「害虫防除作業を行うにあたって」のイラスト入りのリーフレットを作成、平成2年にこのリーフレットに基づいたビデオを撮影し、会員に配布しました。

平成6年には、飲食店舗においてゴキブリがどのくらい生息すると思うか、そして実際にトラップを配置してゴキブリ指数を調査し、指数と出没感の関係を調査、その結果は日本ペストロジー学会で発表しました。これを契機に、ゴキブリ防除基準を編集出版しようということになり、平成6年金澤良浩氏が、平成8年清水一郎氏が委員長になり検討を重ね、平成10年に「ゴキブリ防除基準」として出版しました。これがその後、日本ペストコントロール協会の「建築物におけるIPM仕様書/ネズミ・害虫等の調査と防除基準」に発展、平成14年5月の通常総会で「IPM宣言」、平成15年建築物衛生法施行規則の改正による調査の義務化、平成20年1月の「建築物環境衛生維持管理要領」「建築物における維持管理マニュアル」の通知に繋がり、IPM時代の本格的な幕開けを迎え

たわけです。

平成16年、練馬区の一般住宅におけるネズミ調査を行い、その結果を平成17年第21回日本ペストロジー学会横浜大会で発表、技術ファイル45、46号にも掲載しました。また、パンフレット「PCOシリーズ」のハトを作成、これまで出版された10のパンフレットを改訂するとともに、すべてを収録したミニパンフレットを編集出版しました。

調査研究グループの活動

調査研究グループは、平成22年4月に技術委員会を発展解消して発足しました。事業目的の中で、「衛生的かつ快適な生活環境を保持増進させることを目的として、有害生物の生態、被害状況、防除法等全般について、都レベルの調査研究を行う。調査研究は、協会の調査研究グループが現場調査、有害生物関係の学会の発表、会員の研究成果等の資料の収集・分析、アンケート調査等を行うことにより進める。その成果については、都内の防除防疫業者、都民、保健所、区市町村、その他関係者に情報提供し活用を図る。」とうたっています。

最近の活動を紹介します。

(1)建築物衛生法におけるIPM施工に関する調査研究

①平成20年1月に厚生労働省から通知された建築物環境衛生維持管理要領並びに建築物における維持管理マニュアルの浸透をはかるため、委員会で防除事例を収集し、機関誌「ペストコントロール東京」62巻1月号に掲載しました。

②当協会員、公益社団法人東京ビルメンテ

ナンス協会会員及び東京都環境衛生関係職員へIPMに関するアンケートを行い、その報告を機関誌62巻1月号に掲載したほか、東京ビルメンテナンス協会機関誌「ネットワーク東京」、公益財団法人日本建築衛生管理教育センター機関誌「ビルと環境」に掲載しました。また、平成23年に開催された日本ペストロジー学会千葉大会で報告するなどの普及広報活動を行いました。また、報告書としてとりまとめ、印刷発行しました。

③維持管理要領・マニュアルに沿った「ねずみ・昆虫等調査報告書」並びに「ねずみ・昆虫等の措置報告書」のモデル書式の作成を東京都の協力を得て進め、今年3月にCD-ROMに収め会員に配布しました。これをもとに各社が自社の報告書式を作成することができます。

④東京都から殺虫剤の在庫管理を徹底してほしいとの要請があり、東京都が建築物衛生管理技術者の講習会で作成した標準書式を会員に配布、薬剤の安全管理を呼び掛けました。

(2)ホームページに害虫相談コーナー掲載

東京都民からのネズミ・害虫相談の一環として、平成23年度にネズミ相談コーナーをホームページに掲載しましたが、24年度は、引き続き、ハチ、トコジラミ、ハクビシン等小動物、シロアリのコーナーを追加、25年度にはコウモリ、ハト、カラス、ゴキブリの検討を行い、ホームページに掲載する予定です。

(3)ウェストナイル熱、鳥インフルエンザ、災害の発生時における現場対応に重点を置き

調査研究グループの活動

た感染症対策マニュアルの策定を進めています。

(4)トコジラミの調査及び防除マニュアルを検討し、会員の防除技術の向上を図ります。

(5)ねずみ昆虫防除に関わるさまざまなクレームが発生します。各委員がクレーム内容を持ち寄り、内容分析と発生防止について検討しています。

公益社団法人 東京都ペストコントロール協会のホームページ

公益社団法人 東京都ペストコントロール協会

ねずみ・害虫などの防除について
調査研究・啓発活動・害虫相談を行っています

シロアリ、ネズミ、ダニ、ドクガ、カ、ハチ、ゴキブリ、シラミ、トバト

0085092

協会概要	入会案内	イベント・セミナー	出版物のご案内
当協会設立の目的や活動内容などを紹介します。 ● 協会概要 ● 活動内容 ● 組織 ● 情報公開 ● 案内図	入会資格や入会方法についてご案内します ● 会員について ● 入会要項	相談会やセミナーなど、当協会のイベント情報です。 ● 行事一覧	一般の方向け啓発情報から、専門家向けまで。 ● 出版物一覧 ● パンフレット ● 機関誌

東京都ペストコントロール協会

私達の健康で安全な生活を脅かすネズミや害虫。東京都ペストコントロール協会は、その防除や駆除について、調査研究を行い、一般の方々への普及広報活動と害虫相談を行っています。害虫駆除関連企業や団体などで構成される当協会では、防除業に従事する者の倫理の高揚と技術の向上をはかることも重要な目的としています。

● 個人情報取扱方針

パンフレットをご用意しています。

公益社団法人
東京都ペストコントロール協会
〒101-0044 東京都千代田区
鍛冶町2-9-8 サトービル2階
電話 03-3254-0014(代表)
FAX 03-3254-0190

MAP

Copyright© 2009

PAGE TOP